

新たな油流出リスクに対処する 産業界の責務

石油連盟
平成19年2月22日・23日

アーチャー・スミス
CEO・理事



Oil Spill Response and East Asia Response Limited

討論に当たっての問題点？

- ◆「新たな油流出リスクとは何か、そしてそのあらゆる緊急事態に対して石油産業は責務を負うべきか？」
- ◆環境意識の向上と際立った石油業界の進展が、油流出に対する不必要かつ非現実的な緊急事態の対応責任を、石油業界に押し付けやすい状況を作り出している



環境意識

- ◆ 気候変動についてのある重要な報告では、地球温暖化の原因は人間の活動にある「可能性が高い」とされている。2100年までに気温は4°C上昇し、海水面は29cm上昇する可能性がある。

これは化石燃料の燃焼によって大気中に流れ込む温室効果ガスの影響に対する緊急の警告であり、過去65万年間の最高レベルである。

国連「気候変動に関する政府間パネル」



油が悪い？

- ◆ 「いまだにアラスカ沖に残るエクソン・バルディーズ号の油」ウェブニュース、2007年2月1日「……プリンス・ウィリアム湾に残留している少量の油、海岸線の1パーセントのそのまた10分の2ほどに……」
- ◆ 「ペトロン社のソーラー1号の油流出は、社会的責任の明確化に対する企業の怠慢と規制機能の遂行に対する政府の怠慢の現れである。」





スペイン
プレステージ号
77,000トン

フランス、エリカ号
15,000トン



レクリエーション施設



パーム・アイランド

- ◆ 120kmの海岸線
- ◆ 60のホテル
- ◆ ウォーターフロントの1,000戸の家
- ◆ 5,000に及ぶアパート、マリーナ、店舗、レストラン等の海岸沿いの施設



石油業界による大規模開発

- ◆ サハリン
- ◆ カザフスタン
- ◆ 西アフリカ深海域
- ◆ 北極油田
- ◆ カスピ海、グルジア、トルコなどでの大規模パイプラインの建設

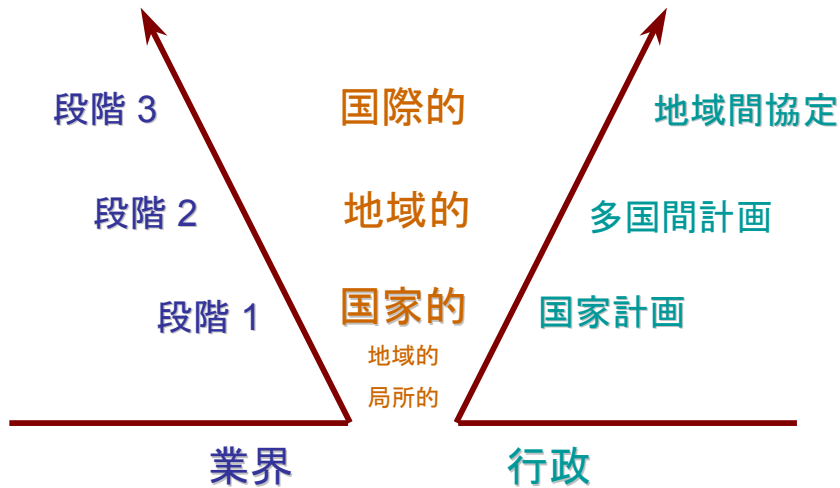


段階的対応の考え方

- ◆ 段階1: 個々の港又は石油取扱い施設で対応準備。小規模流出。
- ◆ 段階2: 対応資源をプール・使用する取決め。官と民、局地的又は比較的広い地理的地域、地域共同組織。
- ◆ 段階3: 段階2で対処できない国家又は国際的対応を統合。
段階2の地域協同組織が協定して、使用頻度の少ない対応資源の重複を避ける。



世界的な対応の枠組み



Source: IMO

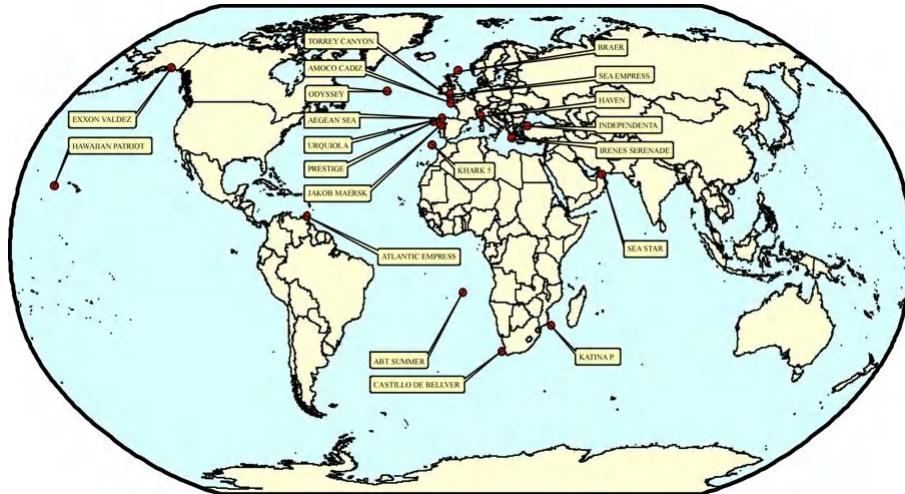


石油業界への圧力

- 世界各地にもっと多くの資機材と備蓄基地を！
 - 中東、北アフリカ、サハリン
- 地域の生産施設が、通過タンカーによる汚染の対応を負担するのか？
 - オマーン、北アフリカ
- 対応への非現実的な期待
 - ロシア、アメリカ合衆国？



最大規模のタンカー流出の発生地点



Courtesy ITOPF

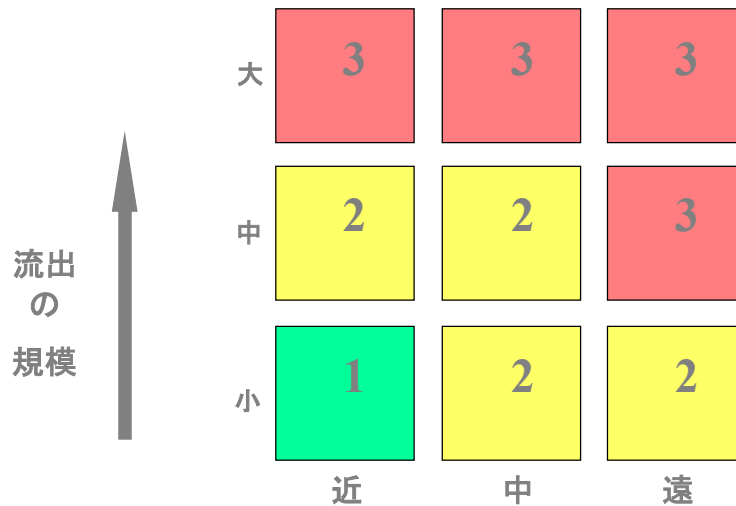


効果的対応

- ◆ 効果的な対応に必要なのは:
 - 訓練された要員が.....
 - 緻密に練られた計画に基き作業し.....
 - 対応資源が適切に備わっていて.....
 - 定期的に訓練が行われる
- ◆ 業界と政府との協力



段階的対応の構造



Courtesy IPIECA

作業への近接性



まとめ

- ◆ 「新しいリスク」の概念が明確でない
- ◆ 流出の影響を軽減するためにより多くの備蓄基地を設置すればいいという単純な問題ではない
- ◆ 政府は、責務を放棄して、すべてを石油業界に任せようとしているようである
- ◆ 効果的対応とは、資機材を持っていればいいというものではない
- ◆ 段階的対応の構造は役に立つものであり、維持促進されるべきである

